



# 嘉手納に米軍新基地計画 黙認耕作地(農地)つぶし、住民立ち退き要求

日本共産党

赤嶺政賢衆院議員が追及

日本共産党の赤嶺政賢議員は、3月27日の衆院安全保障委員会で、内部告発で入手した資料(「知花地区開発計画」12009年3月25日付)を示し、日米両政府が進める沖縄本島中南部の米軍基地統合計画に伴い、嘉手納弾薬庫知花地区(沖縄市)に計画している新たな基地整備について、政府をただしました。以下、質問全文(速記録より)を紹介します(見出しは、当所で付けました)。

嘉手納以南の土地返還には、代替施設への移設条件がある。知花地区にはどんな施設が移設されるのか

○赤嶺委員

日本共産党の赤嶺政賢です。きょうは、嘉手納以南の土地の返還について聞いていきたいと思いま

す。政府は、辺野古の新しい基地建設を進めるとともに、昨年4月に公表いたしました統合計画に基づいて、嘉手納飛行場以南の6つの米軍基地を返還する計画を進めております。しかし、この計画には代替施設への移設条件がついています。そこで、この代替施設について聞きます。まず、嘉手納弾薬庫の知花地区です。知花地区は牧港補給地区の移設先とされておりますが、どのような施設がどのくらい移設されるんですか。

国防省支援機関の倉庫、工場など。現在、米側がマスタープランを作成中

○山内正和政府参考人(防衛省地方協力局長)

お答え申し上げます。昨年4月に公表されました統合計画におきまして、牧

港補給地区の倉庫地区にございます国防省支援機関の施設、具体的には倉庫、工場などでございますが、これらとキャンブ瑞慶覧のインダストリアルコリドーにございますスクールバスサービス関連施設、具体的には事務所、洗車場でございますが、これらにつきまして、嘉手納弾薬庫地区の知花地区に移設されるということになっております。具体的な内容あるいは規模ということではございますけれども、知花地区につきましては、これも昨年4月の統合計画で示させていただいておられますとおり、現在、米側においてマスタープランを作成中でございますので、こうした施設が知花地区のどのエリアに具体的に移設されるかということについては、まだ決まっておらないというのが現状でございます。

知花地区は、多くの農家が黙認耕作地で農業を営んでいる。防衛局は何の調査をしているのか

○赤嶺委員

知花地区は、現在、黙認耕作地として多くの農家が農業をしております。先日、私も現地を見てまいりました。野菜やサトウキビや、あるいは畜産などを営まれておりました。私が見に行ったときに、この地区のあちらこちらに沖縄防衛局の看板が設置されているんですね。その看板には、耕作者の実態把握のための調査を行うので耕作者は連絡するように、このように書かれておりました。これは何の調査ですか。無許可の耕作地、物件の実態を把握し、米軍による施設・区域管理のための環境整備

### ○山内政府参考人

お答え申し上げます。嘉手納弾薬庫地区内の知花地区におきましては、提供施設・区域内に境界フェンスがなく、基地の関係者以外も現在自由に出入りが可能な状態にございます。このため、委員からも先ほど御発言がございましたとおり、広範囲にわたりまして無許可の耕作地及び物件が存在しているのが現状でございます。このため、今後予定されております統合計画に基づく、いわゆる移設先の環境整備に影響を与える可能性がございます。御質問のございました今回の実態調査は、こうした無許可の耕作地及び物件の実態を把握し、今後、米軍による施設・区域の適切な管理が可能となるよう、米側と協力して実施しているというものでございます。

### ○赤嶺委員

そうしますと、統合計画の進展にかかわる調査ということになるわけですね。

### ○山内政府参考人

お答え申し上げます。嘉手納弾薬庫地区内の現在実施しております知花地区におきまして実態調査は、まさにこの知花地区全体におきます将来にわたる米軍による施設・区域の適切な管理が可能となるということも目的としておりますけれども、先ほど触れさせていただきましたように、当該地区におきましては、いわゆる牧港補給地区からの移設物件の施設整備というものも予定されておりますので、こういった観点からは、移設先の環境整備ということで関係があるということでございます。

国は、立ち退きを求め、新たな植え付けも認めないと説明。米軍資料で09年に移設の計画案が作成されているが、把握しているか

### ○赤嶺委員

地元では、耕作者を集めた説明会もやっております。恒久的な工作物は排除する、そして1年以内の立ち退きを求め、新たな植え付けも認めない。防衛局は、その地域を3カ所に区切った航空写真を示しながら、いずれかのエリアに倉庫分を移設するということであります。今の答弁はそういうものを大筋に



認められたものというぐあいに理解をいたしますが、きょう私はここに資料を提出しております。ちょっと黒くて見にくいんですけど、これは内部告発で私のもとに届けられた資料であります。米軍の資料で、チバナ・エリア・デイベロップメント・プラン、つまり知花地区開発プランとありまして、2009年3月25日という日付が書いてあります。このプランは、当時米軍が計画した素案のようですが、ここには、倉庫や学校や洗濯場、死体置き場、こういうのが具体的な施設名として書き込まれているわけですね。

画についてはどのように把握しておられますか。そして、それは現在のマスタープランにどのようなように検討されていますか。そのこともちょっと説明してください。

### 具体的に承知していない

### ○山内政府参考人

お答え申し上げます。委員の配付資料につきましては、米軍資料ということでございます。また日付も2009年当時のものであるということでございます。そういう意味で、私どもとして、現時点で具体的に承知しておるわけではございません。他方、先ほど私から答弁させていただきましたように、昨年四月に公表させていただきました統合計画につきましては、1年程度かけてマスタープランを作成するということになって

おりまして、この合意に基づきまして、現在、米側においてマスタープランを作成中であるというふうにご承知していただいております。

**黙認耕作地のほとんどが基地の代替施設になるのではないかとトリイへの移設計画はどうなっているのか**

### ○赤嶺委員

この図を見る限り、あるいは地元で防衛局が示した3つに分けた図を見る限り、知花弾薬庫一帯の黙認耕作地のほとんどがキャンプ・キンザー、牧港補給基地の代替施設になっていくんじゃないかという不安を、耕作者の皆さんに広げております。それでは次に、トリイの通信施設について聞いていきます。トリイも牧港やキャンプ瑞慶覧の移設先として指

定されておりますが、具体的に、どういった施設がどのくらい移設される計画なのか。また、移設に伴って兵員はどのくらいいますか。

**開発面積は20ヘクタール。増員は約60名**

### ○山内政府参考人

お答え申し上げます。トリイ通信施設につきましては、米側から移設計画の概要が示されたことから、本年2月以降、移設先の地元である読谷村及び関係区長に対し、順次御説明させていただいております。移設計画の概要は、あくまで現時点におきます概略情報であり、確定的なものではありません。そのため、建物の面積あるいは配置は今後の詳細設計の際に変更される可能性があるという前提をつけさせていただいた

だいたいで、次のとおり御説明させていただいております。まず、移設される施設の概要につきまして、主要な建物が3棟であり、開発面積は約20ヘクタール、うち約5ヘクタールは正面ゲートの移設に係る開発面積となっております。また、主要な建物3棟の内訳は、キャンプ瑞慶覧にございます整備施設約4000平米、牧港補給地区にある倉庫施設約1万3000平米、そして牧港補給地区にございます可燃物保管倉庫約2000平米となっております。さらに、施設の移設に伴い



トリイ基地内に広がる黙認耕作地

すトリイ通信施設の増員につきましては、整備施設及び倉庫施設と合わせて約60名というふう聞いております。いずれにしても、今後、マスタープランが完成し、日米合同委員会での合意がなされた後、具体的な移設内容が最終的に確定することとなります。

**移設される場所は黙認耕作地。どの程度影響をうけるか**

### ○赤嶺委員

兵員がふえ、約20ヘクタールの基地がつくられ、キャンプ・キンザー等から移ってくる。ここも、移設される場所は黙認耕作地です。今回の移設計画によって、具体的に、どの程度の耕作地が影響を受けることとなりますか。

**相当程度影響を受ける**

### ○山内政府参考人

お答え申し上げます。先ほど御答弁させていただきましたとおり、現時点におきます開発面積は約20ヘクタールというふうになっておるところでございます。私どもはまだ現時点で詳細については承知しておりませんが、もしも、トリイ通信施設の中にはいわゆる黙認耕作地が多数広がっており、このことではございますので、相当程度影響を受けるといふふうにご承知しております。

トリイでは、すでに米軍が整備をすすめている。影響を受ける黙認耕作地はどれくらいか

### ○赤嶺委員

黙認耕作地の相当程度が影響を受けると。今、黙認耕作地は、トリイの基地

の中には129ヘクタールで、今回は20ヘクタールですね。ただ、トリイの基地は、その工事だけでなく、この計画に先立って、施設内では米軍自身による基地整備が進められております。これは今、どういった施設をつくっているのか。また、これらの整備によって影響を受ける黙認耕作地の面積はどのくらいですか。

### 工事の通報はあるが、新施設整備の具体的な内容は承知していない

#### ○山内政府参考人

お答え申し上げます。在日米軍が直接発注し実施する工事、いわゆる直轄工事というふうに呼んでおりますが、こういった工事につきましては、原則として米側において独自に行われ、必ずしも日本側に個別具体的に通報があるわ

けではございません。他方、こうした米軍の工事につきまして、米軍施設・区域の周辺の公共の安全等に影響を及ぼすおそれがある場合につきましては、4

半期ごとに米側から日本側に通報することとされておりまして、お尋ねのトリイ通信施設につきまして、平成24年第3・4半期中またはそれ以降に着手する工事ということで米側から通報があり、かつ、本年3月時点で進められているものとしては、米軍による新施設建設に先立って行われる文化財調査があるということ、この調査は本年4月に終了する予定であるというふうに承知しております。なお、文化財調査の目的となっておりまして新施設の整備の具体的な内容等については、私どもは承知しておりません。

### 工事による影響を知らないのか

#### ○赤嶺委員

今、米軍が工事をしてい

### 直轄工事は米軍が独自に調整。整備内容は承知していない

#### ○山内政府参考人

お答え申し上げます。先ほど答弁いたしましたように、在日米軍が直接発注して実施するいわゆる直轄工事につきましては、米軍が黙認耕作者の方との調整等も含めて独自に実施しているというのが基本ということでございます。私どもとして、現時点におきまして、新施設の具体的な整備内容等については承知しておりません。

米軍基地増強で40ヘクタールの耕作地が農民から奪われる。今後どういう方針で臨むのか

#### ○赤嶺委員

あなた方は、黙認耕作地で農家が現に耕作している地域に、今から牧港補給基地を移転する。そこでも黙認耕作地は影響を受ける、倉庫地区だけですが。

さらに、米軍がやっている工事でも黙認耕作地が影響を受けている。これは20ヘクタールですよ。皆さんの計画は今は20ヘクタール。全部で40ヘクタールです。129ヘクタールの耕作地の中で、約3分の1が今回、米軍の基地増強によって新たに農民から奪われることになるわけですね。影響を受ける耕作者に対して、今後どういう方針で臨むつもりですか。

移設に先立ち、黙認耕作地の廃止が必要。約2年間を見込んで離作を行う

#### ○山内政府参考人

お答え申し上げます。先ほどお答えしましたとおり、陸軍倉庫の移設先として、開発面積は約20ヘクタールというふうな現段階では見積もられているところでございますが、当該地区が黙認耕作地と重なっている場合には、倉庫の移設に先立ち、移設先の環境整備として黙認耕作地の廃止が必要となります。この場合につきましては、現在耕作を行っている方が農作物を収穫し、耕作を終えるまでの期間として、昨年四月に公表させていただきました。約2年間の期間を見込んで、円滑な離作が行われるよう考えているところでございます。

土地を奪われた農家が農地を返せと行って生まれたのが黙認耕作地。統合計画によって農家が一挙に生活の糧を失う

### ○赤嶺委員

廃止というのは、黙認耕作地を潰すということですよ。それを環境整備という言葉で呼んでおります。もともと、黙認耕作地がどのように形成されていったか。大臣、外務省や防衛省当局から説明を受けていると思うんですが、ただ、簡単な歴史ではないんです。沖縄の米軍基地は、1945年4月に沖縄本島に米軍が上陸したときからつくられ、そのときには。勝手に、無償で、土地代も払わずにどんどんつくられていった。土地代が要求できるようになったのは1951年ぐらいですが、それでも応じなかつ

たというような場所なんです。サンフランシスコ講和条約発効後も、土地代に不服だといって貸さないところには府令で、コカコーラ1本の値段でというぐあいと言われたものですよ。たばこ一箱の値段で土地がどんどん接收されていった。そのときに土地を失った農家の戸数は、当時の琉球政府の調査で、約4万戸だと言われております。そういう人たちが一挙に土地を失った。土地を返せという島ぐるみの闘いが始まった。そういうせめぎ合いの中でできたのが黙認耕作地なんです。いわば、土地を奪われた農家が農地を返せと言って、そういう要求をしてきた中で生まれたのが黙認耕作地。今度は、牧港補給基地、それも全部ではない、倉庫地区だけ移転する、知花地区に移転する、キャンプ・トリーに移転する。しかも、

知花については、知事に宛てた文書を見ますと、ここには何と言っているかといいますが、侵害物件、こういう言い方をしているんです。まるで沖縄県民が侵害していったかのような物件。侵害してきたのは米軍の側ですよ、国際法に違反して基地をつくって、侵害物件という表現は極めて屈辱的であります。今度の統合計画によって、農家が一挙に生活の糧を全て失ってしまう、こういう結果になるんですけれども、本当にそういうやり方をとられるんですか、大臣。

**黙認で耕作されているのは承知している。地元と協議し進める**

### ○小野寺国務大臣

今回の嘉手納以南の土地の返還というのは、沖縄の負担軽減を一刻も早く

進めたいという、全体の中で進めている計画であります。その中で、黙認耕作地というのが存在し、そこに長年、黙認であります。耕作されている方もいらっしゃることは承知しております。いずれにしても、この土地を返していただき、私どもとして、嘉手納以南の一日も早い返還を進めるために、今後とも地元の皆さんとしっかりと協議しながら進めていくこと、これをさせていただきます。と思います。

**県民から土地を奪っておきながら、なぜ返還に移設条件をつくるのか。代替施設が条件なら沖縄の負担軽減にならない**

### ○赤嶺委員

とんでもない話ですよ。黙認耕作地というのは、黙認で認めた恩恵的なもの

じゃないんです。県民から土地を奪って、まさに米側が、日米両政府が県民の財産や土地を侵害して、そういうせめぎ合いの中で残っているのが黙認耕作地。実は、私も農家の生まれですが、私のうちは民間地に農地はありませんでした。全部基地の中にありました。黙認耕作地で育てられたんですよ。生活の糧なんです。ところが、負担の軽減のためだから、必要だから返せと言うけれども、何で返還する場合には移設条件をつくるんですか。代替施設の建設を条件としなきゃ沖縄の基地が返らない、そういうことになれば、沖縄の負担軽減にはならない、沖縄の矛盾を一層拡大していくことになる、こういうことを強く申し上げまして、質問を終わります。